

京丹後市文化財保存活用地域計画進捗管理表

包括的な措置 実施調査

基本方針1-1. 「計画的に調査・研究を進め、成果を共有する」に基づく措置													基本方針1-1. 進捗管理										
課題	番号	事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					実施内容等 (令和7年度分)	実施成果	評価	今後の方向性	
				主管課	大学	団体	市民	前期(3年)	後期(2年)	次期計画				R5	R6	R7	R8	R9					
未把握の文化財に関する調査の推進	1	継続	文化財に関する計画的な把握調査の実施	文化財保存活用課	●	●	●	○	○	○	外部資金(大学研究費)、国庫補助金、市費							山林寺院等の調査を府立大学や地元団体(丹後ひくやま会)とともに実施中。	京都府立大学・丹後ひくやま会と連携し、久美浜町山内や佐野甲等の山寺調査を実施した。	普通	維持		
調査成果が活用しやすい環境づくり	2	新規	調査成果の保存・管理等の推進	文化財保存活用課	●					○	国庫補助金、市費							京都ミュージアム連携デジタルアーカイブ事業により震災復興建築や断層の3D化、震災資料のデジタル化を進めた。	高い	維持			
基本方針1-2. 「保護の対象を広げ、適切な管理のための環境を整える」に基づく措置													基本方針1-2. 進捗管理										
課題	番号	事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					実施内容等 (令和7年度分)	実施成果	評価	今後の方向性	
				主管課	大学	団体	市民	前期(3年)	後期(2年)	次期計画				R5	R6	R7	R8	R9					
文化財保護法や条例に基づく着実な文化財の保護	3	継続	文化財指定等の推進	文化財保存活用課			●	○	○	○	市費	京丹後市文化財保護条例						新規文化財指定に向けた検討を、文化財保護審議会に諮りながら進める。令和7年度の文化財保護審議会は、12月、2月頃の計2回開催する。1回目で候補物件を諮問予定。	1回目の委員会で候補物件を諮問し、2回目の審議会で新指定文化財を3件答申した。答申された3件ともに市文化財に指定した。	普通	維持		
	4	新規	「(仮称)京丹後市登録文化財制度」の創設の検討	文化財保存活用課				○	○	○	市費	京丹後市文化財保護条例						R6年度で検討終了。(京丹後市では市民遺産制度が発定しているため、市民登録制度で目的を達成していく)		低い	完了		
	5	継続	京都府文化財保護指導委員による巡視	文化財保存活用課				○	○	○	府費	京都府文化財保護条例						京都府文化財保護指導委員による巡視について、府との連絡調整や助言等の支援を行う。	京都府文化財保護指導委員による巡視について、府との連絡調整や委員への助言など支援を行った。	普通	維持		
文化財の保存に係る財源の確保	6	新規	「(仮称)京丹後市文化財保護基金」の設立の検討	文化財保存活用課				○	○	○	市費、寄付金等							R5年設立		高い	完了		
				ふるさと応援推進課				○	○	○	市費、寄付金等								R5年設立		高い	完了	
指定等文化財の適切な修理・保全	7	継続	京丹後市指定文化財等補助金	文化財保存活用課			●	○	○	○	市費	京丹後市指定文化財等補助金交付要綱						京丹後市指定文化財等補助金を運用する。	京丹後市指定文化財等補助金を運用し、文化財所有者18者に対し補助金を交付	普通	維持		
適切な保存・管理のための資料内容の整理、市内資料館の機能の充実	8	継続	収蔵品目録の整備と収蔵施設の集約	文化財保存活用課			●	○	○	○	国庫補助金、市費							資料館その他の収蔵資料について、台帳(目録)作成を進めるとともに、再整理及び集約を図る。	引き続き、丹後古代の里資料館の簡易台帳の作成を進めた。	普通	維持		
基本方針1-3. 「魅力を発信し、多様な分野と連携して活用する」に基づく措置													基本方針1-3. 進捗管理										
課題	番号	事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度					実施内容等 (令和7年度分)	実施成果	評価	今後の方向性	
				主管課	大学	団体	市民	前期(3年)	後期(2年)	次期計画				R5	R6	R7	R8	R9					
多様な媒体を活用した情報発信	9	継続	広報、ケーブルテレビでの文化財の紹介	文化財保存活用課				○	○	○	市費							各種文化財セミナーやイベントなどの広報京丹後への掲載、市HP、Facebook、LINE、京丹後歴史文化めぐりマップへの掲載及び適時ケーブルテレビや報道各社に情報提供を行う。	広報京丹後に文化財保存活用課が実施するイベントの案内や報告などの記事を10回掲載。また、文化財セミナー及び丹後古代の里資料館企画展示の展示解説をケーブルテレビ取材・放送。	高い	維持		
				秘書広報広聴課				○	○	○	市費									文化財保存活用課と協議の上、広報京丹後に関連記事に掲載する	広報京丹後に文化財保存活用課が実施するイベントの案内や報告などの記事を10回掲載。	普通	維持
				デジタル戦略課				○	○	○	市費									コミュニティチャンネルで番組制作・放送を行う(週間ニュース、特番等)	網野銚子山古墳史跡整備完了記念イベント、野外コウノトリ足環装着作業、市民遺産認定証交付式、須田平野古墳発掘調査体験や、日本で稀な木造格納庫を未来へつなぐ講演会などを取材・放送した。	普通	維持
	10	継続	特別展示や企画展示の開催	文化財保存活用課				○	○	○	市費								市立丹後古代の里資料館及び郷土資料館において、企画展示や各種イベントを開催し、普及啓発を進める。 ▶郷土資料館 企画展示3回(夏・秋・冬)、資料館まつり1回 ▶丹後古代の里資料館 郷土資料館 2回 イベント:両館ともに夏休みイベント、資料館まつり各1回	各資料館で次のとおり開催した。 ▶郷土資料館 企画展示3回(夏・秋・冬)、資料館まつり1回 ▶丹後古代の里資料館 企画展示2回(夏・冬)、資料館まつり1回、市内小中学生夏休み入館無料イベント	高い	維持	
				文化財保存活用課			●	○	○	○	国庫補助金、市費									R5年に一般向けパンフレット作成済み。		普通	完了
	12	継続	文化財に関する情報や調査成果の発信	文化財保存活用課				○	○	○	国庫補助金、市費								「京丹後市歴史文化めぐりマップ」を活用し、歴史文化に関する情報を市内外に向けて発信する。	「京丹後市歴史文化めぐりマップ」の活用 資料館企画展示やイベント情報などを掲載	普通	維持	
				生涯学習課				○	○	○	国庫補助金、市費									図書館内における市内の文化財等に関する特集展示の実施	峰山図書館において、「京丹後市の文化財」のテーマ展示を2~3月におこなった。	普通	維持
	13	新規	文化財活用実践セミナーの開催	文化財保存活用課		●			○	○	○	国庫補助金、市費							大学との共同研究(府大ACTR等)や資料館の企画展示に連携し、京丹後市文化財セミナーを開催する。	文化財セミナー 第1回(ACTR報告会)2/28開催	普通	維持	
					健康推進課	●	●	●	○	○	○	国庫補助金、府補助金、市費											
				観光振興課	●	●	●	○	○	○	国庫補助金、府補助金、市費								①ジオサイトを活用したトレイルツアーを造成し、京丹後市観光公社で販売する。 ②長寿のまちという特色をいかした京丹後ヘルスツーリズムを造成し、京丹後市観光公社で販売する。	ジオサイトを活用したトレイルツアーを実施。実施回数4回、参加人数121人	普通	維持	
				生涯学習課	●	●	●	○	○	○	国庫補助金、府補助金、市費								ジオパーク等自然の中で各種スポーツ大会を実施。	ノルディックウォーキングの取り組みの中で、峰山飛行場の故地をめぐるウォーキングを実施、42名参加。	高い	維持	

京丹後市文化財保存活用地域計画進捗管理表

関連文化財群ごとの措置 実施調査

1-1. 「地球の営みが生んだ半島の景観と恵み」に関する措置												1-1. 進捗管理					実施内容等 (令和7年度分)	実施成果	評価	今後の 方向性									
課題	番号	分野	事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度														
					主管課	大学	団体	市民	前期 (3年)	後期 (2年)	次期 計画				R5	R6					R7	R8	R9						
自然景観の適切な保全	1-1-1	保存・管理	継続	自然景観・環境の保全	山陰ジオパークのジオサイトおよびその周辺の海岸景観や環境保全を大学等研究機関の専門家、市民、団体と協力しながら継続的に進める。	観光振興課		●	●	○	○	○	国庫補助金			○	○	○	○	○	代表的なジオサイト「立岩」周辺の海岸清掃や「大成古墳群」周辺の草刈業務等を実施する。	大成古墳群の草刈りを2回実施した。	普通	維持					
						文化財保存活用課		●	●	○	○	○	○	国庫補助金															
	1-1-2	保存・管理	継続	海岸漂着物対策推進事業	海岸の景観と環境保全を図るため、海岸漂着物の回収及び処理を行うとともに、3R運動などの漂着物発生抑制対策（ソフト事業）を実施し、海洋汚染および海岸漂着物対策を推進する。	生活環境課		●	●	○	○	○	府補助金	京丹後市環境基本計画			○	○	○	○	○	市内17海岸で海岸漂着物の回収及び処理の実施「水をつなぐクリーン作戦」、市内中学生に向けた環境学習の実施	市内17カ所で海岸漂着物の回収及び処理を実施した。「水をつなぐクリーン作戦」として、小中学生を対象に環境学習を実施した。	普通	維持				
						観光振興課		●	●	○	○	○	府補助金	京丹後市環境基本計画			○	○	○	○	○					地元団体等に委託し、15の砂浜海岸の海岸清掃を行う。海ごみの現状や効率的な海岸清掃の方法を伝える「海岸清掃セミナー」を実施する。一斉クリーン作戦やワンハンドビーチクリーンを実施し、市民等へ砂浜海岸の価値と保全の大切さを啓発する。	地元団体等に委託し、海岸清掃を行った。 6/29 京丹後市ビーチ一斉クリーン作戦を実施。293人参加。	普通	維持
	管理課		●	●	○	○	○	府補助金	京丹後市環境基本計画			○	○	○	○	○	○	○	海岸漂着物の回収及び処理										
	1-1-3	体制づくり	継続	美しいふるさとづくり推進事業	京丹後市美しいふるさとづくり条例により、美しいふるさとの自然環境を守り次代に継承するまちづくりに努めるため、環境共生自主計画を策定した推進主体が保護する環境共生推進地域、特別保護区域の指定を行うとともに、推進主体の活動支援を行う。	生活環境課		●	●	○	○	○	市費	京丹後市美しいふるさとづくり条例、京丹後市環境基本計画	琴引浜の鳴り砂を守る会、はだしのコンサート実行委員会が推進主体、琴引浜が特別保護区域		○	○	○	○	○	鳴き砂で知られる「琴引浜」で、環境保全意識の普及・啓発や地域のにぎわいづくりに目的に第29回となる「はだしのコンサート」の開催経費に対して補助を行う。	第29回となる「はだしのコンサート」の開催に対し補助金を交付した。ビーチクリーンアップ活動を4月から5月にかけておこなった。「はだしのコンサート」は6月1日に行い、参加者約300名。	普通	維持				
	1-1-4	保存・管理	継続	資料館等指定管理施設運営事業	山陰海岸ジオパークの拠点施設でもある琴引浜鳴き砂文化館を琴引浜の鳴き砂を中心に紹介する施設として運営する。長期的には、展示リニューアルを検討するとともに、wi-fi環境や会議設備の充実を図る。	文化財保存活用課		●		○	○	○	市費	京丹後市琴引浜鳴き砂文化館条例			○	○	○	○	○	指定管理者の更新を適切に行うことで、指定管理施設である琴引浜鳴き砂文化館の状況管理を行った。	指定管理施設である琴引浜鳴き砂文化館の状況管理を行った。	高い	維持				
	1-1-5	保存・管理	継続	ジオパーク関連施設のネットワーク化	市内外の山陰海岸ジオパークに関連する博物館のネットワーク化を進めることを検討する。	観光振興課	●	●				○	国庫補助金				○	○	○	○	○	山陰海岸ジオパークの拠点施設である道の駅てんぎ丹後内の情報センターの運営委託や、山陰海岸ジオパーク構成する3府県6市町との連携を図る。	山陰海岸ジオパーク推進協議会へ参画し、各市町のジオサイト及び拠点施設等の情報共有を行った。	普通	維持				
						文化財保存活用課	●	●				○	国庫補助金				○	○	○	○	○					博物館の取り組みの状況について情報公開を行った。	普通	維持	
	1-1-6	活用	継続	ジオツーリズムの推進	ユネスコ認定による世界基準の学術的・文化的価値「山陰海岸ジオパーク」を活かした「ジオツーリズム」の推進。	観光振興課	●	●		○	○	○	市費				○	○	○	○	○	観光会社やガイド団体と連携し、ジオサイト周辺を舞台とするトレイルツアーを実施する。	オサイトを活用したトレイルツアーの実施。実施回数4回、参加人数121人	普通	維持				
						生涯学習課	●	●		○	○	○	市費				○	○	○	○	○					市民大学や各地域公民館講座におけるジオパークを巡るウォーキング講座等の実施。	文化財ウォーキングを実施。2回開催し、のべ参加者は73人。	普通	維持
						文化財保存活用課	●	●		○	○	○	市費																

1-2. 「半島に展開する海・里・山の生業」に関する措置												1-2. 進捗管理					実施内容等 (令和7年度分)	実施成果	評価	今後の 方向性						
課題	番号	分野	事業名	事業内容	主体				期間			財源	根拠	備考	実施年度											
					主管課	大学	団体	市民	前期 (3年)	後期 (2年)	次期 計画				R5	R6					R7	R8	R9			
各地域の特色ある町並みの調査と保存	1-2-1	活用	新規	人と山の文化史の周知・展開	山に関する民俗資料の活用、山城や登山道の更なる整備・登山客の誘致、市内各地の山を守る会等（金剛童子山を守る会等）の活動促進により、人と山の文化史の周知・発展を進める。	文化財保存活用課		●	●	○	○	○	市費				○	○	○	○	○	市内各地の団体の活動に協力することにより山城に関する周知広報を進める。	網野町下岡区開催の下岡城跡シンポジウムに参加、地元の山城に関する周知広報を進めた。	普通	維持	
	1-2-2	体制づくり	継続	自然環境保全事業	環境学習・ブナ林観察会の開催等、京丹後市の自然に触れる機会の提供、自然環境保全の取組等に対する支援を実施する。	生活環境課				○	○	○	市費	京丹後市環境基本計画			○	○	○	○	○	自然豊かな本市の内山ブナ林を歩く「新緑のブナ林観察会」を実施。	自然豊かな本市の内山ブナ林を歩く「新緑のブナ林観察会」を、6月1日に開催し7人が参加。 参加者の減少などにより、R8以降は事業を廃止。	普通	廃止	
	1-2-3	活用	継続	移住促進・空家改修支援事業	移住者の受入組織づくり、空家改修等に対し補助金を交付する。移住希望者の相談窓口・案内業務や情報発信等を行うとともに、移住希望者のためのお試し移住体験住宅を運営する。	政策企画課		●	●	○	○	○	府補助金、市費				○	○	○	○	○	京丹後市移住支援センターを運営し、移住希望者の相談窓口・案内業務や情報発信等を行うほか、お試し住宅移住体験住宅（弥栄町内1棟）の運営、移住促進・空家改修支援事業費補助金により、空家改修等を支援する。	●移住促進・空家改修支援事業補助金 26件 34,284千円 (メニュー別内訳) ・地域受入体制整備促進事業 2件 570千円 ・移住促進住宅整備事業 20件 33,348千円 ・空家流動化促進事業 4件 366千円 ●お試し移住体験住宅 3組7人	普通	維持	
	1-2-4	調査・研究	新規	生業に関わる文化的景観調査	農村、漁村、山村の集落や街並みと生業が一体となった文化的景観調査を進めると共に、丹後型民家などの適切な保存・活用に取り組み。	文化財保存活用課	●	●	●			○	国庫補助金、市費													
	1-2-5	活用	新規	歴史的建造物の活用	歴史的建造物（旧口大野村役場（国登録）、稲葉家住宅（国登録）等）の修理等を実施し、歴史文化の拠点施設として活用することを検討する。	観光振興課		●		○	○	○	国庫補助金、市費				○	○	○	○	○	○	地元のNPO団体に豪商稲葉本家の維持管理及び運営を委託し、活用を図る。	指定管理者により、適切な施設の維持管理及び企画展示の開催など利活用が図られている。	普通	維持
					文化財保存活用課	●			○	○	○	国庫補助金、市費							○			R9年度検討予定				

